



## 小学校でのキャリア教育

学校では、小・中・高校に関わらずどの段階でもキャリア教育を行っています。子ども達が将来社会に出て、充実した社会生活がおくれるように小さいときから力を付けていくことが大切です。「キャリア」と言うと、就職してある一定の技能や地位のこととらえてしまいがちですが、学校では広い意味でとらえています。

子どもの心と体は、発達段階を一步一步上がっていきながら成長していきます。そして、発達段階に応じて適切に自己との関わりにおいて働くことの価値付けを行っています。学校でも家庭でも、当番や仕事や担当というものがあります。集団の中で自分の役割を果たし

ながら、自分らしさを磨いていくことです。つまり、



「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくこと」が重要であり、それを支援するのがキャリア教育です。

1年生においては、給食当番がしっかりできることやクラスのルールが守れることなども、キャリア教育の基礎になります。集団の中で、秩序を守りながら、自分のやるべきことができる力を育てていきます。



### キャリア教育の目標(沢野中央小)

- 自己理解を深め、主体的に行動することを通して、自己の個性を生かしながら、希望をもってよりよく生きようとする態度を育てる。
- 社会生活に必要な知識や態度を身につけるとともに、コミュニケーションを図り、人間関係を築いていこうとする態度を育てる。
- 学ぶことや働くことの意義を理解し、自分のできることを進んで行い、社会に貢献しようとする態度を育てる。

### 社会的自立 職業的自立 自己実現

